

株式会社みえ親孝行 デヴィさん



弊社から紹介した人材が
24時間テレビに出演
しました！

株式会社みえ親孝行シルバーハウス松阪へ入職をしたデヴィさんが24時間テレビに出演をしました。先月、24時間テレビで密着取材を受けたばかりのデヴィさん。今や日本のテレビにも出演するほど注目を浴びる彼女が、なぜ日本で介護の道を選び、どのように夢を追いかけているのか、またどんな思いで就労しているのか、そのルーツを辿るため、私たちはデヴィさんの日々に密着しました。



桜の国で新しい経験を求めて

私が日本に来た一番の理由は、新しい経験を求めていたからです。インドネシアにいたころは助産師として働いていました。介護の仕事は未経験でしたが助産師としての経験を活かせると思い、このチャンスを逃したくないと思いました。

特定技能の制度については、インドネシアの保健省のグループチャットで知りました。さらに詳しく調べてみると、このプログラムが合法かつ安全なものであると確信し、参加を決意しました。



大変さが喜びに変わるとき

日本に来る前は、他の仕事と同じように、介護の仕事は大変だろうと想像していました。しかし、日本は本当に美しく、安全で、住みやすい国なので、仕事の疲れも吹き飛ばすほどです。

仕事で一番大変だったのは、語彙、特に方言を覚えることでした。教科書やインターネットでもなかなか見つけれないため、とても苦労しました。でも、相手の言っていることが理解でき、自分の言葉で返せるようになると、それが大きな喜びに変わりました。成長するために、今も時間を見つけては、本や動画、インターネットで日本語の勉強を続けています。

みえ親孝行での経験

現在、私はみえ親孝行で働いており、介護度4~5のご利用者様のケアを担当しています。利用者様が自立して生活することが難しいため、入浴やオムツ交換、食事のサポートなど、全介助を必要とする方のケアが中心です。

施設の職員の方はとても温かく、先輩や同僚がいつもサポートやアドバイスをくれます。また、利用者様との日々の交流から、多くの日本語や方言を学ぶことができます。ある利用者様は、インドネシア語にとっても興味を持ってくださり、お互いの言葉や文化を教え合い、話をするのがよくあります。また、みえ親孝行では、週に2回、日本語の先生が職場まで来て授業をしてくれる無料の日本語学習サポートがあります。介護福祉士を目指す私にとってこのサポートはとても助かっており、本当に感謝しています。



将来の夢と仲間へのメッセージ

私の夢は、介護福祉士の試験に合格することです。もし合格できたら、日本でもっと長く働きたいと考えています。いつかインドネシアに帰国する際には、ここで学んだ規律や知識を、両親を介護するために活かしたいです。

特定技能プログラムで日本に来たいと考えているインドネシアの皆さんへ、私からいくつかメッセージがあります。このプログラムは、正式な契約、日本人と同じ待遇、安定した給与があり、日本の文化や言葉を直接学べる素晴らしい機会です。大切なのは、日本語を学ぶ強い意志と意欲を持つこと、日本語能力試験や介護技能評価試験結果通知書などの必要な書類を揃えること、そして、労働者としての権利と義務を理解し、熱心に働くことです。

